

マイドを坑夫に勝手に使用せしめてゐる。

其の結果は昭和十年三月四日午後一時全坑二斤一卸にて坑夫田代時廣並に中村幸次郎に火薬に點火せしめたるにバク錠が普通時間より少し後れたる爲めに火薬に點火せざるものと思ひ現地に行きたる時に爆發し田代は兩眼を失明し全身を負傷し、中村幸次郎も一眼を負傷し全身に同じく負傷福岡縣飯塚市芳雄麻生病院に入院現在加療中である

三、勞働賃銀併に傷害扶助料

死亡者に対する遺族扶助料さへ支拂ふ能力なき者に對して日本製鐵は何故に斤先堀を許可したか。

其の爲めに従業員併に地方氏は非常なる迷惑をしてゐる其の責任は當然監督の地位にある商工省當局にあると思ふ當地方一般のウワサに依れば庄司炭坑主三崎知一氏と現商工省政務次官勝

正憲氏とは何か關係がある様にウワサされてゐる。

斯る事は益々政黨の信用を失ふものであり商工次官勝氏の爲めにも其の點を明確にして戴きたい。同時にかかる經濟的不能者に對して即時斤先堀の取消をして戴きたい。

右依頼申上候

庄司炭坑従業員代表

中 村 彦 次 郎